



# 第62期 報告書

2009年4月1日～2010年3月31日

## 株主メモ

**事業年度** 毎年4月1日から翌年3月31日までの1年

**定時株主総会開催時期** 6月

**基準日** 定時株主総会 3月31日  
期末配当 3月31日  
なお、中間配当を行う場合の基準日は9月30日  
(その他必要があるときはあらかじめ公告します。)

**株主名簿管理人** 中央三井信託銀行株式会社  
東京都港区芝三丁目33番1号

**同事務取扱場所** 中央三井信託銀行株式会社 大阪支店証券代行部  
〒541-0041 大阪市中央区北浜二丁目2番21号  
☎0120-78-2031

**単元株式数** 100株

**公告方法** 電子公告とし、当社ホームページに掲載いたします。  
なお、やむを得ない事由によって電子公告をすることが  
できない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。  
URL <http://www.inaba.co.jp>

**上場証券取引所** 東京・大阪証券取引所 市場第一部

**証券コード** 9934

### 〈株式に関するお手続き〉

- 株式に関する各種お手続き（住所変更、単元未満株式の買取・買増請求、配当金受領方法の指定など）は、株主様が口座を開設されている証券会社にてお取扱いしております。詳しくは、お取引証券会社にお問い合わせください。
- 株券電子化実施前に証券保管振替制度を利用されていなかった株主様の株式につきましては、「特別口座」で管理されております。「特別口座」に関する各種お手続き（証券会社の口座への振替、住所変更、単元未満株式の買取・買増請求、配当金受領方法の指定など）は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行にてお取扱いいたします。  
なお、「特別口座」に関する各種お手続きに必要な用紙のご請求は、下記のフリーダイヤルまたはホームページで24時間受付しております。  
◎フリーダイヤル 0120-87-2031（自動音声案内）  
◎ホームページアドレス [http://www.chuomitsui.co.jp/person/p\\_06.html](http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html)
- 未払配当金のお受取りにつきましては、株主名簿管理人である中央三井信託銀行にてお取扱いいたします。



〒550-0012 大阪市西区立売堀4丁目11番14号  
**因幡電機産業株式会社**  
TEL 06-4391-1781 FAX 06-4391-1806  
URL <http://www.inaba.co.jp>

因幡電機産業株式会社



代表取締役社長 守谷 承弘

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご厚情を賜り厚くお礼申し上げます。さて、当社グループ第62期の事業の概況をとりまとめましたので、ご報告申し上げます。

営業の概況

当社グループの係わる電設資材業界は、企業収益の悪化による設備投資の抑制や消費者の住宅取得マインドの冷え込みなどにより、景況感の悪化が継続しました。

また自社製品の係わる空調業界は、省エネ家電購入の際に発行されるエコポイント制度の効果による特需が期待されたものの、平成21年度のルームエアコンの国内出荷台数は691万台（前年同期比8.9%減）となり、その効果が波及するには至らず、低調に推移しました。

このような情勢のなか、当社グループはコスト削減策を中心とした緊急対策を実施してまいりましたが、市況の低迷による主力商品の販売減少が大きく影響し減収減益となりました。

経営の基本方針

当社グループは、電設資材及び制御機器等の卸販売並びに空調部材等の製造販売を通じて「省エネルギー、省資源など地球環境に配慮し、豊かで快適な社会づくりに貢献する」ことを経営の基本理念としております。

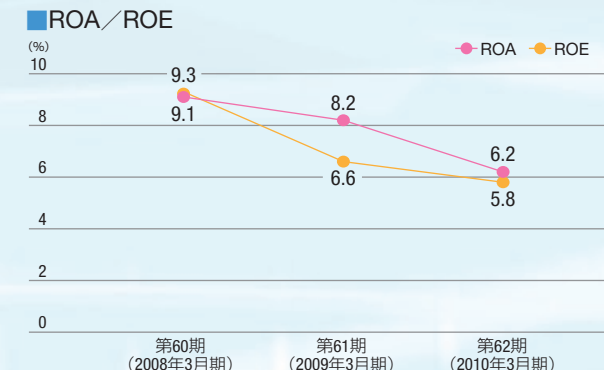
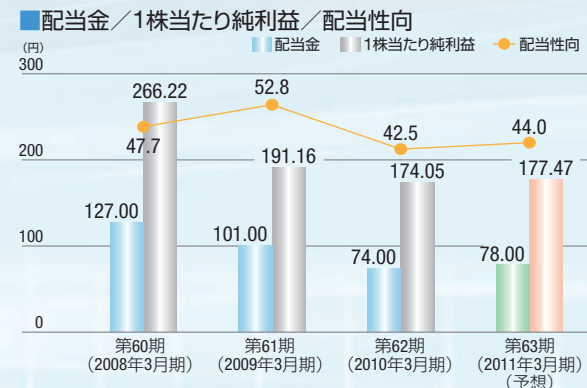
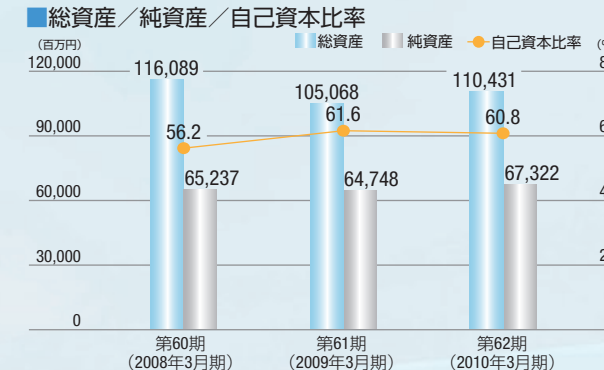
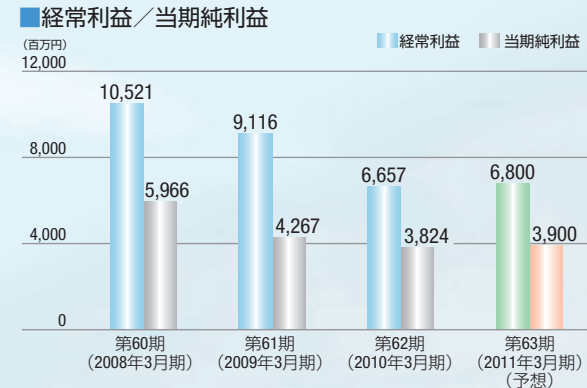
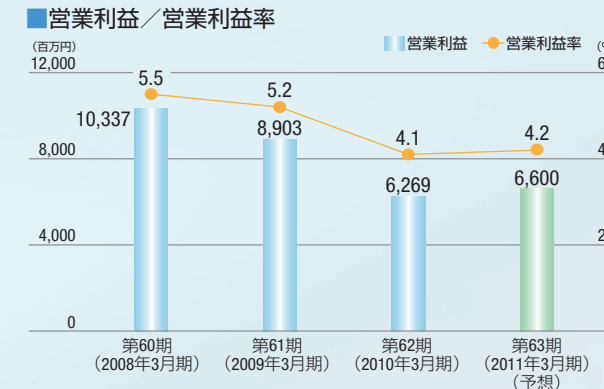
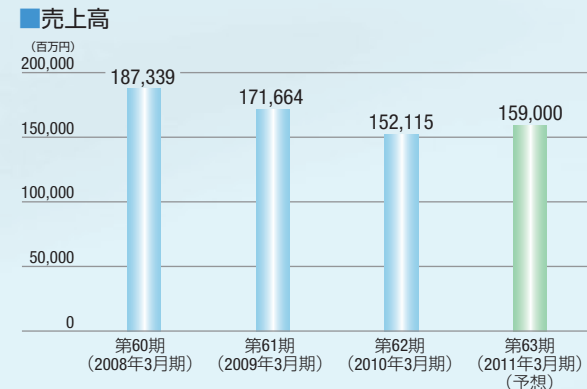
信頼される企業であり続けるため、コンプライアンス経営を第一義として、成長と変革によって企業価値の最大化を図り、すべてのステーク・ホルダー（株主、投資家、従業員、取引先、地域社会等の利害関係者）にご満足いただける企業を目指してまいります。

中長期的な会社の経営戦略及び対処すべき課題

当社グループの中核事業は建設業界の川下に位置し、国内における建設需要の低迷を背景とした趨勢的なマーケットの縮小が予想されます。特に、リーマン・ショック以降は、設備投資や住宅投資の冷え込みが深刻化し、極めて厳しい状況が続いております。

このような認識のもと、当社グループは、中長期的な成長に向けて次の重点施策を実行してまいります。

- ① 自社製品・PB（プライベートブランド）商品の開発  
空調部材を中心とした「INABA DENKO（因幡電工）」、マルチメディア情報配線システム「Abaniact（アバニアクト）」といった自社ブランドを展開しております。顧客ニーズに対応した付加価値の高い自社製品やPB商品の開発を加速し、収益力の強化を図ってまいります。
- ② 環境ビジネスの推進  
太陽光発電システムの専任組織「太陽光発電プロジェクト」を昨年8月に立ち上げ、太陽光発電設備及び関連部材の拡販に注力しております。このほか、LED照明など今後成長が見込まれる省エネ・環境配慮型商品の販売を軸として環境ビジネスを積極的に推進してまいります。
- ③ コスト削減の徹底  
価格競争が激化するなか、無駄の排除による諸経費の節減、生産や物流の合理化といったコスト削減を徹底し、経営効率の向上を追求してまいります。

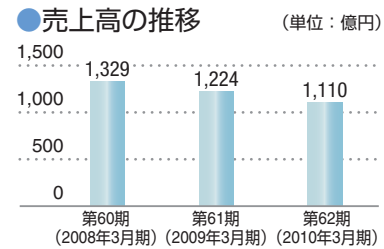


## 電気機器事業

### ●事業内容

- 電線ケーブル類
- 住宅用・施設用照明器具
- 配分電盤
- トランス
- 配線器具
- 防災システム など

連結売上高 1,110億75百万円



### ●概況

建設投資が依然として低調に推移するなか、配分電盤をはじめ電設資材全般において売上が減少したことに加え、銅価格が下落した影響によって電線ケーブル類の売上が大幅に減少しました。



住宅用照明器具



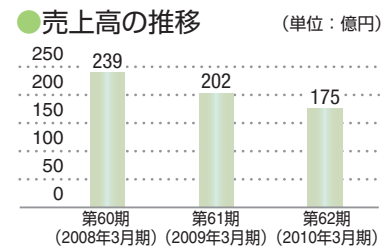
電線ケーブル類

## 産業機器事業

### ●事業内容

- センサー
- マイクロスイッチ
- リレー
- タイマー
- FA機器
- 電子機器
- 表示器 など

連結売上高 175億95百万円



### ●概況

液晶デバイスをはじめ電子部品の売上が期央以降に増加するなど、業績の底打ちが鮮明になったものの、設備投資の抑制によって急減した需要が回復するまでには至りませんでした。



制御機器



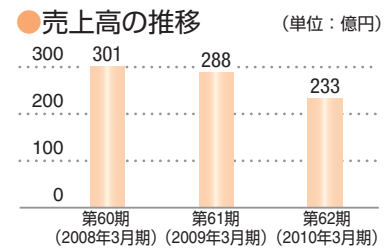
表示器

## 空調部材事業

### ●事業内容

- ペアコイル
- ネオコイル
- フレア配管セット
- スリムダクト
- 耐火キャップ
- 銅管継手 など

連結売上高 233億67百万円

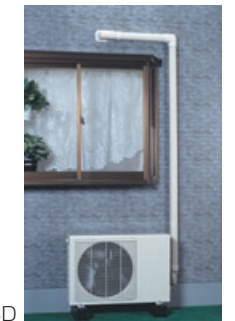


### ●概況

主力製品である空調配管化粧カバー「スリムダクトシリーズ」は、夏場の天候不順や新設住宅着工低迷の影響により売上が減少したほか、被覆銅管は銅価格の下落等に伴う販売価格の低下により売上が大幅に減少しました。



空調用被覆銅管  
ペアコイル・ネオコイル



スリムダクトSD

電工事業部

エアコン配管化粧カバー

美しさにこだわった「スリムダクト」がエアコン配管を一新。住まいに外観や室内のインテリアを構成。また、多系統配管をコンパクトに納めて省スペース化を図り、余裕ある施工も実現しました。



多目的支持台  
リサイクロックCR

電線管・機器据え付けなどの多目的支持台。リサイクル材使用で地球環境にもやさしい。



被覆銅管

あらゆる施工規模に対応するペアコイル・ネオコイルをはじめ、多様なニーズに適したエアコン配管用の高品質被覆銅管をラインナップ。

- ペアコイル・ネオコイル
- ネオパイプ
- ネオコイルKHE



難燃被覆銅管 ネオパイプNHR

難燃性保温材使用でろう付け作業も安全・安心。安全管理のスタンダードに。



防火区画貫通部材

安全性・施工性に優れ、低コストで確実に処理できる貫通部措置工法。国交省・日本消防設備安全センターの認定/評定を取得。

- 耐火キャップ
- 耐火遮音カバー
- 耐火スライドスリーブ



エコキュート用配管部材

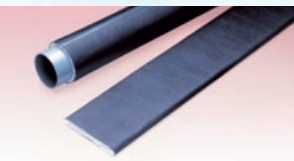
柔軟で曲げ加工がしやすく、耐久性にも優れた省エネ設計。差し込むだけのワンタッチ継手で安全・確実な施工が可能。



給水・給湯配管システム

給水管を壁面上に配管するリフォームダクトや、ステンレスフレキ管ロングフレキシシリーズなど、耐久性・作業性に優れた幅広いニーズに対応。

- リフォームダクトJD
- ロングフレキ
- サヤパイプIS
- テクトパイプIXN
- 耐火遮音カバーIRSP



ハウジング事業部

AEMグラファー

電気も、ガスも、水道も使用量をエリア別に計測。エコが見えれば省エネ効果も上がります。



マルチメディア先行配線システム  
アバニアクト

テレビ・パソコン・携帯電話・監視カメラなど、あらゆる家電機器が相互に連携する情報のマルチメディア化が進んでいます。そのメリットを十分に活かすために、新築時における先行配線システムを提案。

アパート全部屋インターネット  
ZABY'S FREE

アパートに光ファイバーを引き込み、みんなで高速インターネット。機器導入からプロバイダ事業まで幅広くサポートしています。



事業開発部

配電盤・分電盤・動力盤

「環境と人へのやさしさ」をコンセプトにした「S.K.Y.-Pシリーズ」。省施工で保守・メンテナンス性に優れ、環境はもとより、エンドユーザー、設計・施工・製造者、すべてにやさしい製品です。「ユーザー使用部分」「工事使用部分」の分割納入も可能にしました。



太陽光発電プロジェクト

太陽光発電システム

クリーンで無尽蔵な太陽光のエネルギーを最大限に活用する「太陽光発電システム」。近未来に対応する高効率・低コストを追求した信頼性の高い発電システムを提案いたします。



株主優待

平成22年3月31日現在において、当社株式100株以上ご所有の皆様に、所有株数に応じてQUOカードを贈呈させていただきます。

- 100株以上……1,000円相当
- 1,000株以上……1,500円相当
- 3,000株以上……2,000円相当



## ●連結貸借対照表 (単位：百万円)

	前 期 (2009年3月31日)	当 期 (2010年3月31日)
流 動 資 産	74,442	77,467
固 定 資 産	30,625	32,964
有 形 固 定 資 産	20,709	20,614
無 形 固 定 資 産	492	1,641
投資その他の資産	9,422	10,708
流 動 負 債	36,449	38,794
固 定 負 債	3,869	4,315
純 資 産 合 計	64,748	67,322
負債及び純資産合計	105,068	110,431

POINT 1  
総資産額

前連結会計年度末に比べ53億63百万円増加し、1,104億31百万円となりました。これは主に、商品及び製品、繰延税金資産が減少いたしました。現金及び預金、受取手形及び売掛金、無形固定資産、投資有価証券の増加があったことによるものであります。

POINT 2  
負債総額

前連結会計年度末に比べ27億90百万円増加し、431億9百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金、未払法人税等の増加があったことによるものであります。

POINT 3  
純資産総額

前連結会計年度末に比べ25億73百万円増加し、673億22百万円となりました。これは主に、剰余金の配当により利益剰余金が減少いたしました。当期純利益の計上や評価・換算差額の増加があったことによるものであります。

## ●連結損益計算書 (単位：百万円)

	前 期 (2008年4月 1日から 2009年3月31日まで)	当 期 (2009年4月 1日から 2010年3月31日まで)
売 上 高	171,664	152,115
売 上 原 価	146,310	130,608
売 上 総 利 益	25,353	21,507
販売費及び一般管理費	16,449	15,237
営 業 利 益	8,903	6,269
経 常 利 益	9,116	6,657
当 期 純 利 益	4,267	3,824

## ●株式の状況 (2010年3月31日現在)

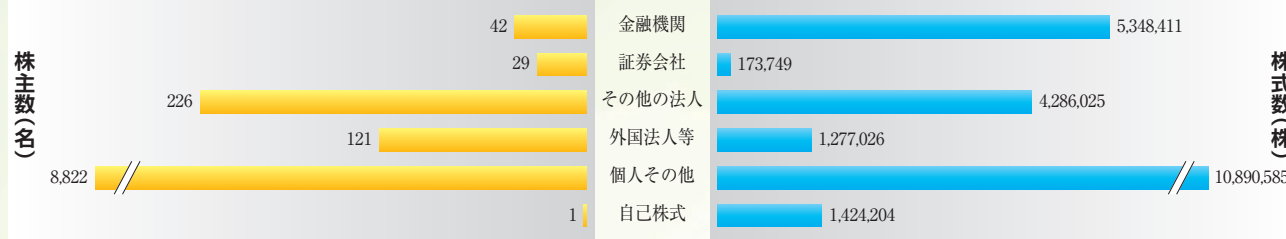
発行可能株式総数	76,460,000株
発行済株式の総数	23,400,000株
株主数	9,241名

大株主の状況 (上位10名)

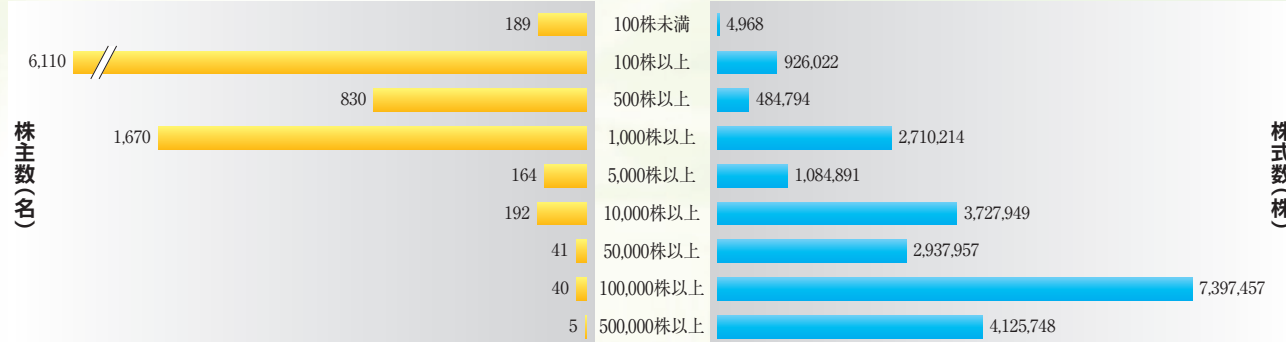
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
(株)りそな銀行	798,120	3.63
日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (信託口)	671,400	3.05
日本マスタートラスト信託銀行(株) (信託口)	641,400	2.91
因幡電機従業員持株会	590,624	2.68
吉川 昌子	404,900	1.84
日本生命保険(相)	344,257	1.56
(株)みずほ銀行	320,892	1.46
資産管理サービス信託銀行(株) (証券投資信託口)	319,100	1.45
(株)日阪製作所	318,484	1.44
因幡 則男	312,321	1.42

(注) 1. 当社は、自己株式を1,424,204株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## ●所有者別状況 (2010年3月31日現在)



## ●所有株数別状況 (2010年3月31日現在)



## ●概要 (2010年3月31日現在)

社名	因幡電機産業株式会社 INABA DENKI SANGYO CO.,LTD.
創業	昭和13年4月
設立	昭和24年5月
資本金	8,120,372,747円
従業員数	1,380名 (連結)
主要な事業内容	電設・電子・情報機器販売及び空調システム部材の製造・販売
事業所の概要	本社：大阪市西区立売堀4丁目11番14号 3工場、2物流センター、22営業所

## ●役員 (2010年6月18日現在)

代表取締役社長	守谷 承弘
常務取締役	枝村 浩平
常務取締役	吉良 洋二
取締役	家郷 晴行
取締役	松山 俊雄
取締役	山本 節次郎
取締役	吉田 益巳
取締役	酒井 昭
取締役	奥田 善紀
取締役	高橋 司
常勤監査役	今村 正善
常勤監査役	高野 憲昭
監査役	瀬尾 眞澄
監査役	平松 靖弘

(注) 1. 取締役 高橋 司氏は、社外取締役であります。  
2. 監査役 瀬尾眞澄氏及び平松靖弘氏は、社外監査役であります。

## ●連結子会社 (2010年3月31日現在)

会社名	主要な事業内容	資本金(百万円)	当社の出資比率(%)
日本オートメ(株)	産業機器事業	30	100
イナバエンジニアリング(株)	産業機器事業	30	100
アイティエフ(株)	電気機器事業	20	70
イナバビジネスサービス(株)	旅行代理店業	10	100
東光電機産業(株)	電気機器事業	50	100
春日電機(株)	産業機器事業	300	100

## ホームページのご紹介

当社はホームページにおきましても最新のトピックスをはじめ、業務報告や会社情報など様々な情報をご案内しております。

<http://www.inaba.co.jp>

